

TRPU NEWS

富山県立大学ニュース

NO. 127
| Summer | 2020

p.2-3
Close-Up 県大

コロナ禍でもオンライン講義で授業を
本学では学びの時を止めずに……。

p.4 ドンドンマスマス! 県大Campus Now!

p.5 キャンパストピックス

p.6 インフォメーション

p.7 人事消息・新任教員紹介・受賞情報

p.8 サークル紹介・スケジュール

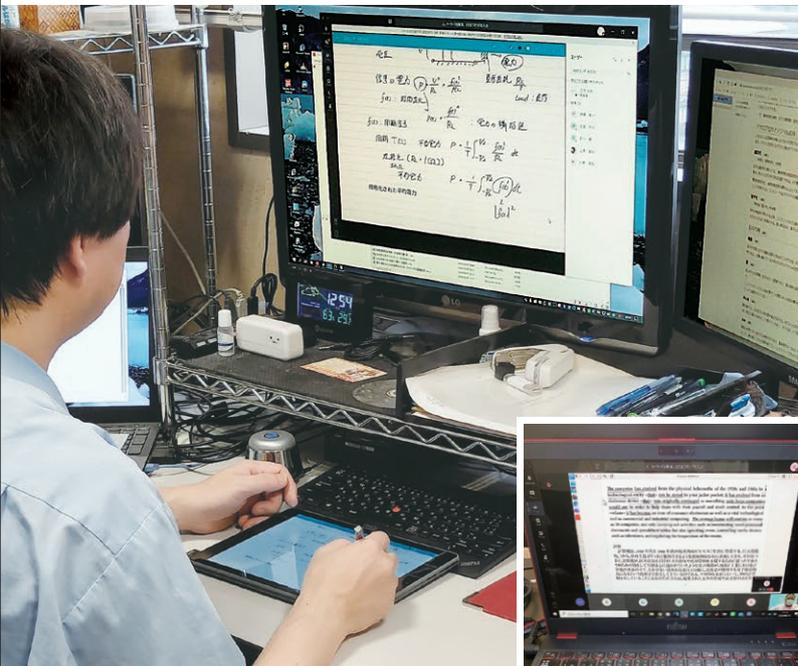


射水キャンパス新校舎、
中央棟が4月より
供用開始されたのじゃ!

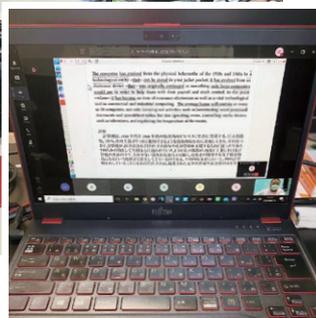


「ドンドンマスマス 富山県立大学」
プロジェクトリーダー ドンマス教授

コロナ禍でもオンライン講義で授業を 本学では学びの時間を止めずに……。



三宅准教授のオンライン講義の様子



諸田さんが受けた「技術英語」の Teams の表示例

オンライン講義の取り組み概要

4月初頭に教務委員長を中心に遠隔講義WGが結成され、各学科から教員が参加し、遠隔講義に関する議論が始まりました。ゼロの状態から約2週間で、Teamsを利用したリアルタイム型・オンデマンド型授業の基本的な進め方を決定し、マニュアルの作成を行いました。

実際に始まってみるまで、学生の通信環境などわからないことも多く、教員側も不安が大きかったです。特に1年生は、一度も大学で授業を受けることなく進めることになったため、教養の先生方にガイダンス等の時間を長く取っていただきました。また、50台以上のルータを学生に配布し、通信環境の確保に取り組んでいます。

現在では、毎日100コマ程度のビデオ会議による授業が実施されています。トラブルや問題が発生した場合には上記WGで情報を共有し、迅速に対応するように心がけています。今後の課題として、公平性を担保した遠隔によるテストは非常に困難であるため、レポートなど妥当性のある評価方法を決め、学生にもわかりやすく伝えていく必要があると考えています。またリアルタイム型、オンデマンド型それぞれの学習効果など、学生からのフィードバックも受けながら、今後に向けて検討していきたいと考えています。

遠隔講義WG
工学部情報システム工学科 准教授 岩本 健嗣

4月22日からオンライン講義実施

三宅准教授 新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、本学では4月11日から学内への立ち入りが禁止になりました。授業がどうなるか不安だっただろうね。

諸田さん 友人が進学した東京の大学では、4月中旬からオンライン講義を始めました。ぼくも両親も、富山県立大学でもそうなると思ったので、不安は感じませんでした。

高橋さん 4月10日に、22日からオンライン講義を始めるという案内が大学からあった時、オンライン講義で用いるツールの Teams (チームズ) をうまく使えるかどうか不安でした。私は父にその使い方を教えてもらい、22日からは時間割通りに授業を受けています。他大学に進学した友人の中には、4月下旬になっても講義を受けていない人がいました。でも先生方は、短期間の準備で大変だったのではないですか？

寺井講師 私はまず、Teams では何ができるかを調べ、遠隔講義WGが作成したマニュアルをよく読みました。私の授業は「小児看護概論」で、通常は PowerPoint (パワーポイント) を使い、予めまとめておいた資料に沿って授業を進めています。オンライン講義でもそれを活用しようと思い、Teams の中に表示しました。PowerPoint の画面の切り替わりに時間がかかることがありましたが、データが重すぎたため、次回からは内容を分割して軽くしました。

三宅准教授 私も PowerPoint を使ってたのですが……。 「伝送工学 I」では、数式がたくさん出てきます。授業では、数式を板書しながら考え方を教えます。学生はそれをノートに取りながら考え方を理解していく。ところが PowerPoint を使って数式を一挙に見せてしまうと、学生の頭に残らない。そこでタブレットを Teams につなぎ、タブレットに板書するスタイルで授業を進めました。

オンライン講義ならではのよさがある

寺井講師 実際にオンライン講義を受けての感想は？

高橋さん 通常の講義でも PowerPoint にまとめられた資料がスクリーンに表示されますが、前の学生の頭の陰になって見えなかったり、教室の後方に座ったため文字が読めなかったことがあります。オンライン講義では学生各自のパソコンに表示されるためそういうことはありません。ま

座談会
参加者



工学部
電気電子工学科
准教授 三宅 壯聡



看護学部
看護学科
講師 寺井 孝弘



工学部
電子・情報工学科
3年生 諸田 才風さん



看護学部
看護学科
2年生 高橋 夢果さん

た授業をパソコンに録画しておくことができ、欠席者は後日それを見ることができ、復習用に利用することもできました。

諸田さん ぼくは、質問がしやすかったのがよかったと思います。通常の授業でも県立大の学生は先生の研究室を訪ねてよく質問しますが、ぼくは「先生は今忙しいのでは……」と思い行けないこともありましたが、でもTeamsにはチャットの機能があり、「時間に余裕のある時にお願いします」と質問を送ることができました。

三宅准教授 諸田君は、今年は熱心に質問してくるなど思っていたんだけど、昨年までは遠慮していたの？

諸田さん はい。では先生方のオンライン講義のご感想は？

寺井講師 私の授業の履修生は123名いて、学生の顔をパソコンに表示しないようにしました。表示するとデータが重くなり、切り替えが遅くなるからです。学生の顔が見えないのは味気ないのですが、良い点もありました。例えばある事柄に対してどう思うか。A、B、Cから選んで手を挙げてと対面の授業では学生に依頼するのですが、どれを選んだかを周りの学生に知られたくないためか、手を挙げない学生がいるのです。ところがオンラインで「該当するキーを押して」と話すと、皆答えてくれる。しかも瞬時に、回答者数や割合もわかるのです。

実習の授業も行いました！

三宅准教授 私はあくまでもコロナ禍の今は緊急事態と理解し、授業の質を落とさないようにするにはどうしたらよいかを考えながら進めてきました。座学の教科は、タブレットをつないで活用しました。後期には実験のある授業を控えていますが、もし実験が不可能ならば、今年の学生が取った実験データがありますので、データ解析の実習を行おうと思っています。前期の他の先生の実験を伴う授業でも、そういう工夫をされているようです。

高橋さん 私が受けている「診療援助看護技術」では、滅菌手袋の装着実習がありました。大学から手袋が送られてきて、汚染部分と清潔部分を保って装着する手法を、学生を3人ずつのグループに分け、先生も入れて4人を映しながら、手袋の正しい装着法の指導を受けました。

寺井講師 工夫次第で、実験や実習も少しはできているようですね。オンライン講義を始めて1カ月半ほどになります。対面の授業がよいのはもちろんですが、このわずかの間で、Teamsの機能が上がりつつあるようですから、オンライン講義も工夫次第でもっと充実しそうですね。

(この座談会は令和2年6月に、オンラインで実施しました)



寺井講師のオンライン講義の様子

キャリアセンターの取り組み（遠隔授業実践）

かねてより学生の就職指導を担ってきたキャリアセンターにおいても、学内への学生の立ち入り制限に伴い対面によらない遠隔指導を導入しました。

これまで一斉授業形式で行っていたキャリア形成論、企業を知る木曜日（通称「シルモク」）、進路ガイダンスなどの取組は「Teams」を活用した双方向通信もしくは「stream」を利用した動画の配信によって同等の情報提供を実施しています。卒業学年を迎えている学生・大学院生にとっては就職活動の真っただ中であり例年はエントリーシートの添削や面接試験の予約が殺到している時期です。しかし、4月中旬に学内への立入りが制限されたため、就活に直面する学生・大学院生への対応としては電話や電子メール、Web面談などのツールを用いて対応しております。6月を迎え学生の学内立入制限が解除され、従来通りの対面による就職相談も可能になっており、学生の就職に向けた支援態勢を充実させています。



富山県立大学の校舎整備について

去る3月29日(日)に富山県立大学中央棟(射水キャンパス)の竣工式が富山県の主催により開催され、約80人の関係者の出席のもと、石井隆一富山県知事が式辞を述べられました。

中央棟は4月1日(水)に供用が開始され、鉄筋コンクリート造9階建て、富山県のアルミ技術を活かしてデザインしたシンボリックな外観の建物です。

内部は高さ約25mの大きな吹抜け空間を囲むように回廊を設けており、1階には各種実験室や地域連携センター、2階には講義室を配置するとともに、学年全員での講義等に活用する400人収容の大講義室を整備しました。

また、1階に主体的な学びの空間としてアクティブラーニングスペース、2階から8階に談話・交流スペースを配置するとともに、3階から9階の各学科の研究室・実験室には飛行時間型質量分析システム等の最新の研究機器も導入しました。

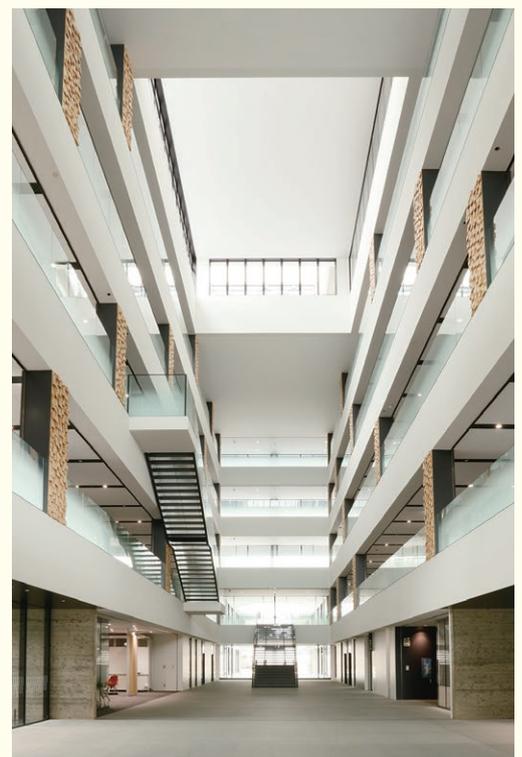


大講義室



アクティブラーニングスペース

今後、更に環境工学科棟等を解体し、再来年度にかけて跡地に駐車場等を整備する予定ですが、工事が始まると工事車両の通行や騒音発生などが想定されます。引き続き、学生、教職員各位にご理解、ご協力をいただきながら、安全確保に努めて無事完成を迎えたいと願っています。



Campus Topics

ポートランド州立大学 (PSU) 語学研修

2月13日(木)～3月8日(日)までの25日間、
本学の学生6名が米国オレゴン州ポート
ランド市で語学研修に参加しました。実
践的な英語力を身につける授業に加え、
期間を通してホームステイをする英語一
色の毎日を通して、英語力の向上だけ
でなく、米国文化や社会についても理解
を深めました。

参加学生からは、「海外を実際に体験
することで、今までの印象が変わった」
や「自分の英語に少し自信がない人でも
挑戦しやすいと思う」などの感想があり、
今後グローバル化する社会に適應できる
人材になるためのよい機会になっています。



学内合同企業研究会

2月26日(水)～28日(金)の3日間、本
学大谷講堂で、学内合同企業研究会を
開催しました。この企業研究会は、令和3
年3月卒業・修了予定の学生が、企業の
業種・職種等について研究し、企業の採
用スケジュール等について企業の人事担
当者から情報収集を行うもので、3日間
で延べ435名の学生が参加しました。

1日目～2日目午前中は県外企業、2日
目午後～3日目は県内企業を中心に、計
268の企業に参加いただきました。

スーツに身を包んだ学生達は、熱心に各
企業のブースで人事担当者の説明を聞
き、積極的に質問していました。



令和元年度学位記授与式

3月20日(金・祝)、ラポールにおいて、
令和元年度学位記授与式が行われまし
た。式では、下山学長が「皆さんの持つ
個性や独創性を発揮して社会課題に挑
戦し、社会変革をもたらし、ご家族にも幸
せを分配できるような、素晴らしい未来を
つくっていただきたいと思います。」と式辞。

また、山崎富山県副知事が「困難や課
題に直面した時こそ、果敢にチャレンジ
し、力強く新たな未来を切り拓かれること
を願う」と知事の祝辞を代読されました。

式では、各学科の成績優秀な学生1名
に、学長からベストチューデント賞が贈
られました。受賞された方々は、次のとお
りです。

- 工学部機械システム工学科 — 村松 政紀
- 工学部知能ロボット工学科 — 大原 祐也
- 工学部電子・情報工学科 — 守山 遼
- 工学部環境・社会基盤工学科 — 遠藤 雅樹
- 工学部生物工学科 — 茂住 梨紗



「とやま賞」受賞について

遠藤洋史准教授(機械システム工学
科)が、富山県ひとづくり財団の「第37
回とやま賞」科学技術部門(高分子材料
科学)を受賞し、5月21日(木)に富山電
気ビルディングにおいて贈呈式が行わ
れました。

この賞は、置県百年を記念し昭和59
年に創設されたもので、学術研究やス
ポーツなどの分野において顕著な業績
を挙げ、将来の活躍が期待される個人・
団体に贈られるものです。

今回受賞の対象となった研究業績は
「表面制御技術を駆使した高分子系
多機能性マテリアル群の開発」で、微細
リンクル加工技術や2次元シート加工技
術に関するオリジナリティ溢れる数多く
の研究が高く評価されました。

第37回「とやま賞」贈呈式



永年勤続表彰

永年にわたり本学の発展に寄与され
た功績を称えられる、永年勤続表彰式
が6月1日に行われました。30年勤続で
は、浅野泰久教授、小林一也教授、岩
田栄之准教授、川端繁樹准教授、20年
勤続では、三宅壯聡准教授、浦島智講
師、西原功講師が表彰されました。

渋谷克人理事長が、「本学開設から
30年、この大学と歩みを共にされてきた
皆様には、培われた知識や経験を引き
続き十分活かしながら、今後とも教育・
研究活動を進
めていただき
たい」と挨拶を述
べました。



Information

お知らせ

「公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)」

●安否確認システム (ANPIC) について

本学では「公立大学法人富山県立大学安否確認システム (ANPIC)」を導入しています。富山県で「震度6弱」以上の地震が発生したときは、あらかじめ学生の皆さんに登録していただいているメールアドレス等にANPICから安否確認メールが自動送信され、受信した学生は安否状況を報告することになっています。

上記以外の災害発生時等においては、発生した災害による影響を鑑み、必要に応じて大学の管理者が手動でメール配信を行います。

●安否検索

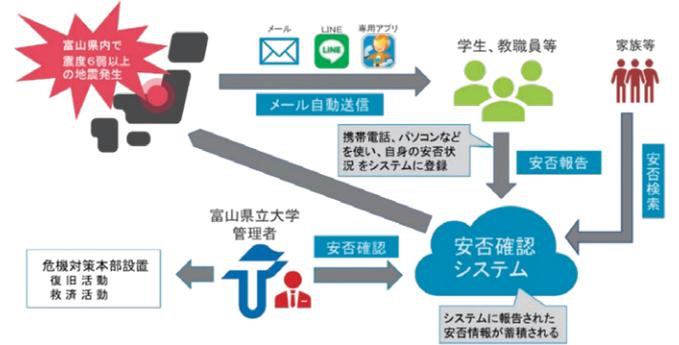
ANPICは、ご家族が、本学の学生の安否情報を検索して、確認をすることができます。

電話でのお問い合わせには、時間がかかる場合がありますので、ご家族の方は、できるだけ【ANPICログインサイト】のURL[※]にアクセスして、安否検索をご利用くださいますようお願いいたします。なお、安否情報は、平常時は非公開に設定しています。大規模災害時にご家族が学生及び教職員の安否を確認できるよう一時的に公開します。

※本学のホームページの安否確認システムのサイトに掲載しています。

●事前の登録

安否確認メールを受信するために、学生の皆さんは、事前にANPICに携帯メールアドレスの登録やアプリの登録 (LINE設定) を行う必要があります。学生が、ANPICに登録していない場合には、是非ご家族からも、登録を済ませるようお声がけをしていただけるよう、よろしくお願いいたします。



ANPICを使用した安否確認

お知らせ

博士の学位授与報告

3月20日(金・祝)の学位記授与式において、博士(工学)の学位を授与された方の氏名と論文題目は次のとおりです。

【課程博士】機械システム工学専攻

- 有賀 善紀 小型チップ部品を搭載したプリント基板の熱設計手法に関する研究
- 杉野 直人 Study on gas permeability and transferability of molds for injection molding (射出成形用金型のガス透過性と転写性に関する研究)

【論文博士】生物学専攻

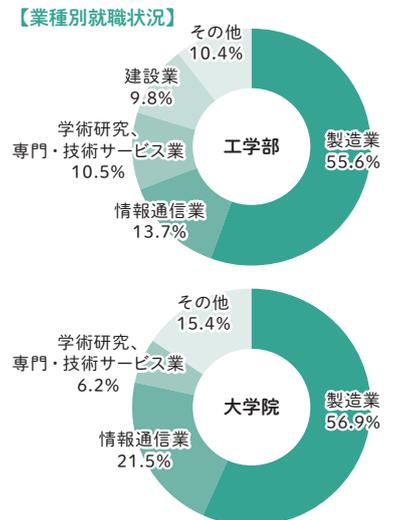
- 富森 菜美乃 ADMET Studies for Sesamin and Episesamin (セサミンとエピセサミンのADMET (吸収、分布、代謝、排泄、毒性) 研究)

お知らせ

令和元年度卒業・修了生進路状況(令和2年3月31日現在)

	卒業・修了者数	就職者数		進学者数	
		うち県内就職	うち本学大学院	うち県内就職	うち本学大学院
工 学 部	231 (42)	153 (29)	79 (17)	77 (13)	74 (13)
機械システム工学科	50 (4)	36 (3)	15 (2)	14 (1)	14 (1)
知能ロボット工学科	53 (4)	34 (3)	19 (1)	19 (1)	19 (1)
電子・情報工学科	52 (8)	24 (3)	15 (2)	27 (5)	25 (5)
環境・社会基盤工学科	35 (4)	27 (4)	8 (2)	8 (0)	7 (0)
生物工学科	41 (22)	32 (16)	22 (10)	9 (6)	9 (6)
大学院・博士前期課程	70 (7)	65 (6)	28 (2)	2 (1)	2 (1)
機械システム工学専攻	16 (0)	16 (0)	9 (0)	0 (0)	0 (0)
知能デザイン工学専攻	14 (1)	12 (1)	5 (0)	0 (0)	0 (0)
情報システム工学専攻	20 (0)	20 (0)	6 (0)	0 (0)	0 (0)
環境工学専攻	10 (2)	9 (2)	4 (2)	1 (0)	1 (0)
生物工学専攻	10 (4)	8 (3)	4 (0)	1 (1)	1 (1)

() は女子内数



人事消息

就任	(R2.4.1)	附属図書館射水館長	石森 勇次
		附属図書館富山館長	田中 いずみ
		キャリアセンター所長	坂村 芳孝
昇任	(R2.4.1)	工学部教授	川上 陽介
		工学部准教授	古澤 之裕
		工学部准教授	寺島 修
		工学部准教授	澤井 圭
		工学部准教授	小島 千昭
退職	(R2.3.30)	事務局長	山下 康二
		工学部教授	松田 敏弘
		工学部助教	清家 美帆
	(R2.3.31)	工学部助教	八尾 惇
		工学部助教	高橋 祐里香
		工学部助教	松井 大亮
工学部 新規採用	(R2.4.1)	工学部教授(特別任用)	森 孝男
		工学部講師(特別任用)	碓井 エリザベス
看護学部 新規採用	(R2.4.1)	工学部講師	アントニオ レネ
		工学部助教	三小田 憲史
		看護学部准教授	城戸口 親史
(R2.4.1)	看護学部准教授	木谷 尚美	
	看護学部助教	川口 寛介	
(R2.6.1)	看護学部准教授	堀井 聡子	

新任教員紹介

工学部



環境・社会基盤工学科/助教 三小田 憲史

環境・社会基盤工学科に着任いたしました。これまで主に水環境における有害物質の動態を研究してきました。教育・研究を通じ富山県の発展に貢献できるよう取り組んでいく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。



情報システム工学科/講師 アントニオ レネ

アンゴラから来日し大阪大学で博士号を取得しました。4月まで産業技術総合研究所でサービス工学に焦点を当てた研究を行って参りました。本学教員として教育と研究に尽力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

看護学部



看護学科/准教授 城戸口 親史

この度、看護学科に着任いたしました。病院勤務時より、施設内感染予防や災害時の支援に興味を持ち教育・研究を行ってまいりました。ここ富山でも研究を続けていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



看護学科/准教授 木谷 尚美

滑川市の出身で、久しぶりに富山に戻ってまいりました。専門は老年看護学です。年を重ねても自分らしく暮らしたい、その思いに寄り添いたいと思っています。地元へ貢献できるよう尽力いたします。よろしくお願い申し上げます。



看護学科/准教授 堀井 聡子

厚労省の研究官として地域保健行政に関する政策研究や、JICA専門家としてアジア・アフリカ諸国の看護教育制度構築等に携わって参りました。今後は実践・研究・教育をつなぎ学生とともに地域の健康課題解決に努めます。



看護学科/助教 川口 寛介

本年度より看護学部老年看護学講座に着任いたしました。高齢がん患者のQOL支援について取り組んでいます。地元の富山県でより良い看護を目指して教育・研究に尽力していきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

受賞情報

教員の受賞

受賞日順、学科名、職位は受賞時のもの

岡村 茂樹 准教授/工学部機械システム工学科

日本機械学会賞(論文)

高速炉に適用する厚肉積層ゴムの研究開発[1/2縮尺厚肉積層ゴムを用いた静的載荷試験に基づく履歴モデルの構築] 2020.3.2受賞

坂本 正樹 准教授/工学部環境・社会基盤工学科

Ecological Research Award

Oh H.J., Oda Y., Ha J.Y., Nagata T., Hanazato T., Miyabara Y., Sakamoto M. and Chang K.H. (2019) Responses of daphnids and other zooplankton populations to massive fish kill in Lake Suwa. Ecological Research, 34: 856-863. (※共責任著者として) 2020.3.7受賞

伊藤 勉 准教授/工学部機械システム工学科

第32回 日本金属学会 若手講演論文賞

Microstructure Evolution and Creep Behavior of Near- α Ti Alloy Produced by Thermomechanical Processing (Materials Transactions, Vol. 60 No. 11) 2020.3.17受賞

神谷 和秀 教授/工学部知能ロボット工学科

日本機械学会 生産加工・工作機械部門 部門長特別表彰

2019年度(第97期)生産加工・工作機械部門第3企画委員会委員として講習会の企画・運営において、これまでにない多大な成果を上げたこと 2020.4.16受賞

学生の受賞

学科名、学年、指導教員の職位は受賞時のもの

田川 風音 博士前期課程知能デザイン工学専攻2年

2019年度 電子情報通信学会 北陸支部 優秀学生賞

指導教員: 准教授 高野 博史 2020.2受賞

橋本 康作 博士前期課程情報システム工学専攻1年

2019年度 電子情報通信学会 北陸支部 学生優秀論文発表賞

指導教員: 准教授 中田 崇行 2020.2受賞

春田 一成 博士前期課程情報システム工学専攻1年

2019年度 電子情報通信学会 北陸支部 学生優秀論文発表賞

指導教員: 准教授 中田 崇行 2020.2受賞

尾崎 裕樹 博士前期課程情報システム工学専攻1年

2019年度 電子情報通信学会 北陸支部 学生優秀論文発表賞

指導教員: 准教授 中村 正樹 2020.2受賞

甲斐 誉人 博士前期課程情報システム工学専攻2年

2019年度 電子情報通信学会 北陸支部 学生優秀論文発表賞

指導教員: 准教授 中村 正樹 2020.2受賞

遠藤 雅樹 環境・社会基盤工学科4年

令和元年度土木学会中部支部優秀講演者賞

指導教員: 教授 伊藤 始 2020.3受賞

伊藤 大世 博士前期課程機械システム工学専攻2年

自動車技術会 大学院研究奨励賞

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

伊藤 大世 博士前期課程機械システム工学専攻2年

2019年度 日本機械学会 北陸信越支部賞 学生賞(学生活動の部)

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

森崎 稜磨 機械システム工学科4年

2019年度 日本機械学会 北陸信越支部賞 学生賞(学生活動の部)

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

内藤 匠海 機械システム工学科4年

2019年度 日本機械学会 北陸信越支部賞 学生賞(学生活動の部)

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

西川 礼恩 機械システム工学科4年

2019年度 日本機械学会 北陸信越支部賞 学生賞(学生活動の部)

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

伊藤 大世 博士前期課程機械システム工学専攻2年

日本機械学会 交通・物流部門 夢・乗り物アイデアコンテスト2019 優秀賞

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

森崎 稜磨 機械システム工学科4年

日本機械学会 交通・物流部門 夢・乗り物アイデアコンテスト2019 優秀賞

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

内藤 匠海 機械システム工学科4年

日本機械学会 交通・物流部門 夢・乗り物アイデアコンテスト2019 優秀賞

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

西川 礼恩 機械システム工学科4年

日本機械学会 交通・物流部門 夢・乗り物アイデアコンテスト2019 優秀賞

指導教員: 講師 寺島 修 2020.3受賞

寺島 眞生 博士前期課程知能デザイン工学専攻1年

2019年度 電気・情報関係学会北陸支部連合大会 優秀論文発表賞

指導教員: 教授 平原 達也 2020.3受賞

樽松 一穂 博士前期課程機械システム工学専攻2年

日本設計工学会 武藤栄次賞優秀学生賞

指導教員: 教授 竹井 敏 2020.3受賞

犬塚 圭亮 知能ロボット工学科4年

電気学会 技術委員会奨励賞

指導教員: 講師 佐保 賢志 2020.3受賞

August
8月

- 射水キャンパス
- 6日(木)～26日(金) 授業又は試験又は補講
 - 27日(金)～9月16日(金) 集中講義
 - 18日(土)、19日(日) 工学研究科入学者選抜
 - 22日(木)、29日(木)
- 保護者向けキャリア支援(就職・進学)セミナー

- 富山キャンパス
- 3日(月)～14日(金) 授業又は試験又は補講

September
9月

- 中旬～11月中旬 北陸三県大学学生交歓芸術祭(未定)

- 射水キャンパス
- 18日(金) SD研修会

- 富山キャンパス
- 28日(月)～10月1日(日) 集中講義(看護ケアとユマニチュードI・II)

October
10月

- 3日(土) 富山県立大学開学30周年記念式典
- 秋季公開講座(開催日未定、7月頃に決定する予定)
- 24日(土)、25日(日) 大学祭(未定)
- 若手エンジニアステップアップセミナー
 - 10/ 2(金)～11/ 6(金) 環境・社会基盤工学系コース
 - 10/ 7(土)～12/ 9(水) 機械系コース
 - 10/ 8(日)～10/29(水) 医薬品・生物工学系コース
 - 10/13(土)～11/24(水) 電気電子工学系コース
- 先端技術リカレント教育セミナー
 - 10/ 2(金)～11/ 6(金) 教養教育コース
 - 10/ 9(金) バイオ人材育成トレーニングコース
 - 10/16(金)～12/11(金) 看護学コース
 - 10/21(土)～11/20(金) 知能ロボット工学コース

- 射水キャンパス
- 1日(日) 後期授業開始、第2回進路ガイダンス
 - 15日(土) 第3回進路ガイダンス

- 富山キャンパス
- 1日(日) 後期授業開始
 - 26日(月)～11月20日(金) 基礎看護実習Ⅱ

November
11月

- 秋季公開講座(開催日未定、7月頃に決定する予定)
- 27日(金) 学校推薦型選抜

- 射水キャンパス
- 環境講演会(開催日未定)
 - 12日(土) SPI対策講習

- 富山キャンパス
- 24日(土)～12月17日(日) 基礎看護学実習Ⅰ(火、水、木曜日実施)

※令和2年6月1日現在。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、今後予定が変更になる可能性があります。最新の情報は大学HPをご覧ください。



PDC プレゼン・ディベート・サークル

PDC(プレゼン・ディベート・サークル)です! 私たちは、面白いことを「発見」し、「発信」することをモットーにして活動を行っています。昨年は講義室を一室

借り切って、メンバーの趣味や好きなものについてのプレゼン大会などを行っていました。本年度は、昨今の社会情勢により中止となった、入学式でのサークル紹介・サークル勧誘をオンライン上で実現できないかというメンバーのアイデアを基に、サークル紹介動画の作成を行いました。テレビ通話で有志のサークル代表者にインタビューを行い、その動画を編集し、YouTube上で公開しました。

このように、定例の活動以外の、サークルメンバーのアイデアを受けての活動も活発に行いたいと考えています。自分の好きなことを多くの人に伝えたい、自分のアイデアを形にして発信したいという方はぜひ、お気軽にご連絡ください!

(公式Twitterアカウント: @PDC40853276)
(情報システム工学専攻1年 山田 大成)

編集後記

昨年度末よりコロナウイルスが猛威を振るい、それに応じて日々周囲の状況が変化の中で、本学においても新年度以降の大学内業務の進め方について連日議論が行われました。そこで中心になったのは、学生や教職員の安全確保と、学生に対する授業や研究機会をどのように提供していくかについてです。これを達成する具体的な方法として、教員も学生も在宅状態で授業を実施できる遠隔講義の仕組みを早期に立ち上げることが決定しました。しかし大学として、

すべての学生に公平にこのような環境を提供するためには、システムの安定した動作や堅牢なセキュリティの保証、および万一の場合のバックアップ、さらに何よりこれらのシステムを利用して授業を実施する教員の利用スキル確保を短期間に実施することが必要でした。このような状況に対して、本学では教務委員会と計算機センターが強力に連携して遠隔講義環境を構築するとともに、新たに設立された遠隔教育WGが遠隔講義用のマニュアルを作成したこと、また多

くの教員がそのマニュアルを活かして、遠隔講義という制約の中で個々の授業を最大化するために工夫されたことで、早期に遠隔講義体制を構築することができました。私はこの一連の動きに、変化に強い大学の一端を見た思いでした。そこで、Close-Up 県大では、この遠隔講義環境構築に関わられた遠隔講義WGの方や利用者のインタビュー記事を載せています。是非、ご覧ください。

(広報・情報委員長 鳥山 朋二)



この用紙は資源保護のためインキは植物油インキを使用しています。